

2024年11月15日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

私たち岩手県信用農業協同組合連合会（以下「当会」といいます。）は、協同組合精神のもと地域金融機関として、県内 J A とともに金融サービスの提供を通して農家経営の向上を図り、併せて岩手の農業と地域社会の発展に貢献することを理念として掲げています。

当会では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

岩手県信用農業協同組合連合会

I. 取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 当会では、長期投資に適した投資信託の厳選した商品ラインナップ（J Aバンクセレクトファンド）により、社会情勢やお客さまの多様なニーズにお応えするための商品をご提供しております。なお、当会は金融商品の組成に携わっておりません。
- 当会では、農林中央金庫がJ Aバンクセレクトファンドを対象に半期ごとに実施している定期モニタリングの評価を参考とし、お客さまのニーズに合った商品を取入れています。なお、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、各種規程類、新規商品・新規業務等検討委員会で商品ラインナップの見直しを行うこととしております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）> (件)

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	8 (前年度末：6)
株式型	4 (前年度末：4)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	10 (前年度末：10)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

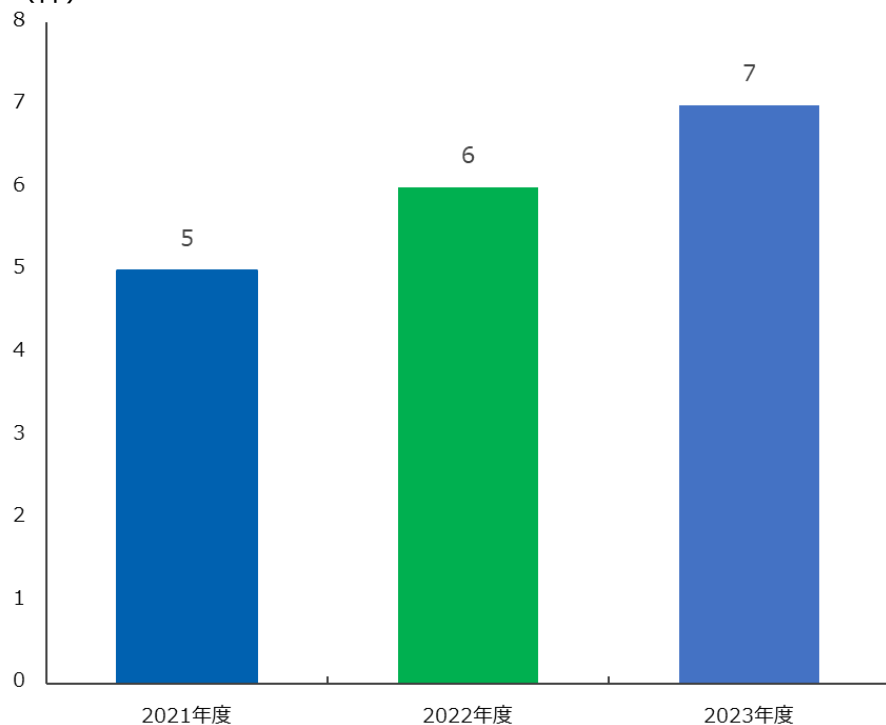


I. 取組状況

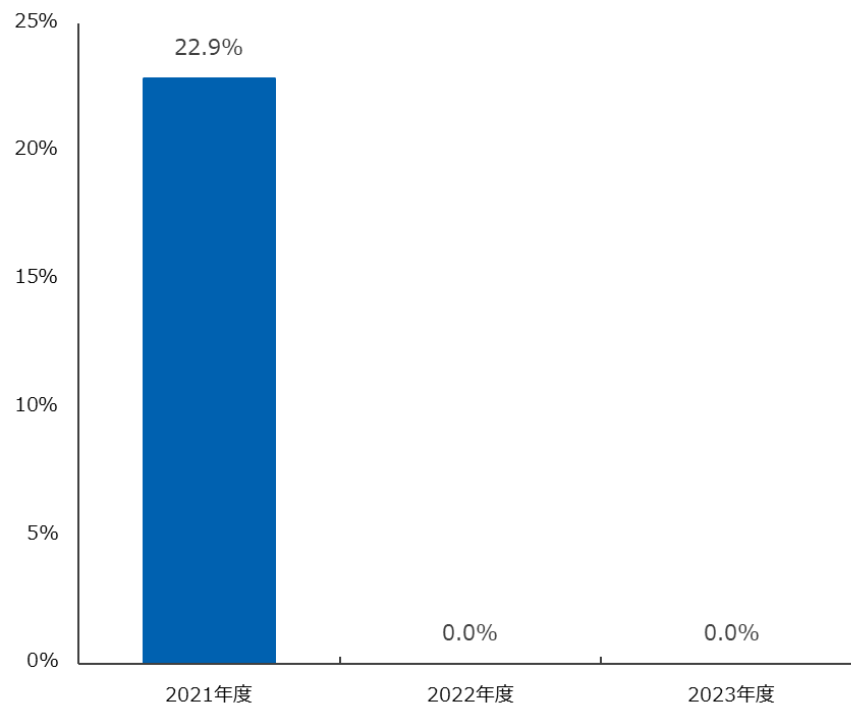
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 投資経験の無い方で、つみたて投資で長い時間をかけて大きな利益確保を目指すお客様に対し、つみたてNISA（新NISAつみたて枠）を利用した株式投信積立を提案するなど、お客様にご負担していただく手数料に関しても目論見書等を活用し、丁寧かつ分かりやすいご説明に努めました。

(件) <投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、「資産運用ガイダンス」や「セレクトファンドマップ」等を活用し、取扱ファンドの特徴、購入後の元本が保証されないリスク等に関してわかりやすくご説明し、お客さまの購入ファンド絞込みが少しでも容易になるよう心掛けました。

資産運用ガイダンス

安心でゆとりある将来のために、JAバンクはお客さまと一緒に資産形成・資産運用を考えます。ぜひ、ご相談ください。

目次

- P1 私たちのお金をとりまく環境
- P2 資産形成や資産運用の必要性
- P5 お金の色分け
- P6 リスク・リターンの関係
- P7 資産分散
- P8 長期投資
- P9 短期分散
- P10 積立投資と一括投資
- P11 エントリー分散投資
- P12 おトクな税制優遇
- P13 投資信託とは

JAバンク

JAバンク ファンドマップ

安定型 中間型(安定～中間) 中間型(中間～積極) 積極型

コア
債券
株式

サテライト
債券
株式

REIT

左からリスクの小さい順番に並んでいるからね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

コア・サテライト戦略について

保有する資産をコア(中核)資産と、攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

コア
安定型資産を指す
バランス型ファンド
安定型の債券ファンドなど

サテライト
攻めニーズに応える単一資産ファンドなど

投資対象のリスクとリターンとの関係イメージ

右にあるタイプの投資信託ほど高い収益が期待できる一方で、価格が変動する幅も大きくなります。

海外債券
国内債券
海外REIT
国内REIT

リスクと投資カテゴリーイメージ

リスク	安定型		中間型		積極型	
	小	大	小	大	小	大
国内債券 海外債券 (債券ヘッジあり)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジなし)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジあり)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジなし)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジあり)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジなし)	国内債券 海外債券 (債券ヘッジあり)
債券イメージ	バランス	バランス	バランス	バランス	バランス	バランス

※各ファンドのリスクイメージは、投資の考えとなる特徴を表現することを目的に、リスクターンの目安として、最終的な投資決定はご自身の判断で行ってください。
※「コア・サテライト」は、債券の運用や海外債券への「攻め」イメージであり、市場変動によって大きく変動する可能性があるほか、利元の運用結果を左右するものではありません。

【投資信託説明書（交付目録見当）】のご請求、お申し込みは

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 当会では、商品内容や重要情報をわかりやすくご提供することを目的とした「重要情報シート」を活用してご説明しております。また、お客さまへの商品提供や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、各部署は取引を行う際に、当該取引が利益相反のおそれのある取引かどうか確認しており、該当する場合は、リスク管理部署へ報告するとともに適切に管理しております。リスク管理部署は各部署からの相談・協議を行うとともにモニタリングを実施しております。

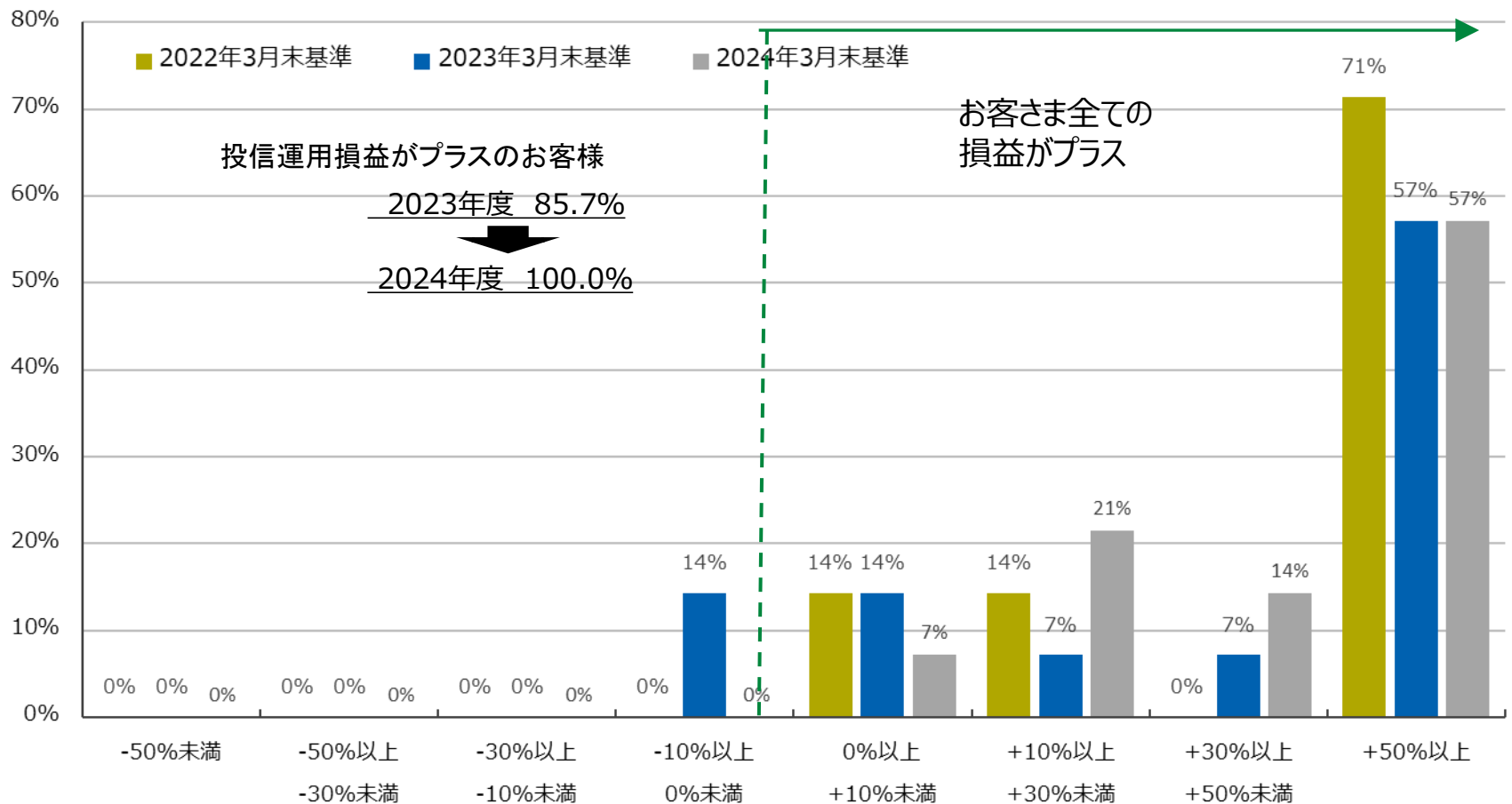
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- 当会では、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、職員へのF P 資格の取得を奨励しており、2023年度には新たに3名の職員が試験に合格し、正職員の64.8%がF P 資格取得者です。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率

- 2023年度は欧米でインフレが落ち着きを見せたため秋口に政策金利が据え置かれ、また、半導体関連産業が好調で関連株が上昇し、それに伴い欧米の株高や円安が進んだことで、日本も株高となった。その結果、全てのお客様の投信運用損益がプラスとなった。

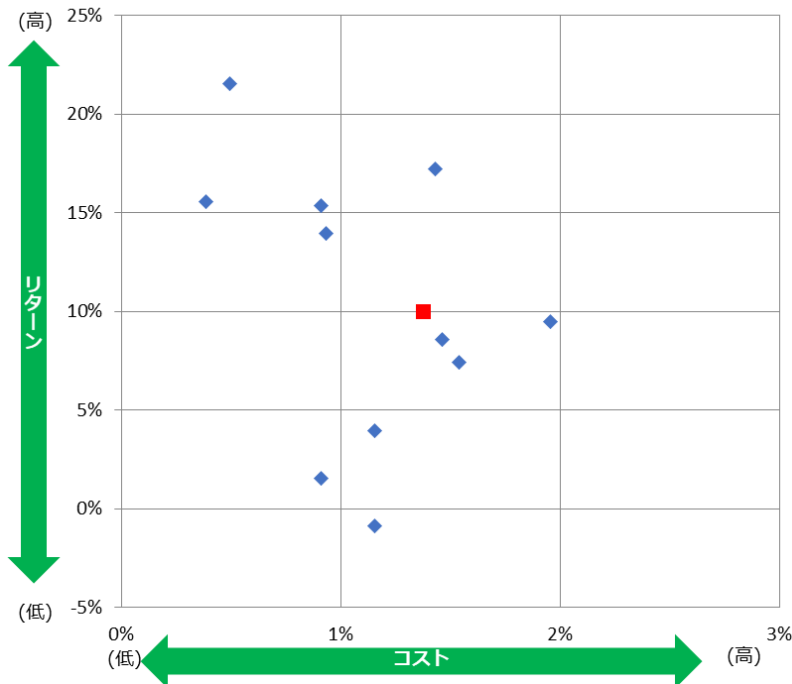


Ⅱ.比較可能な共通K P I

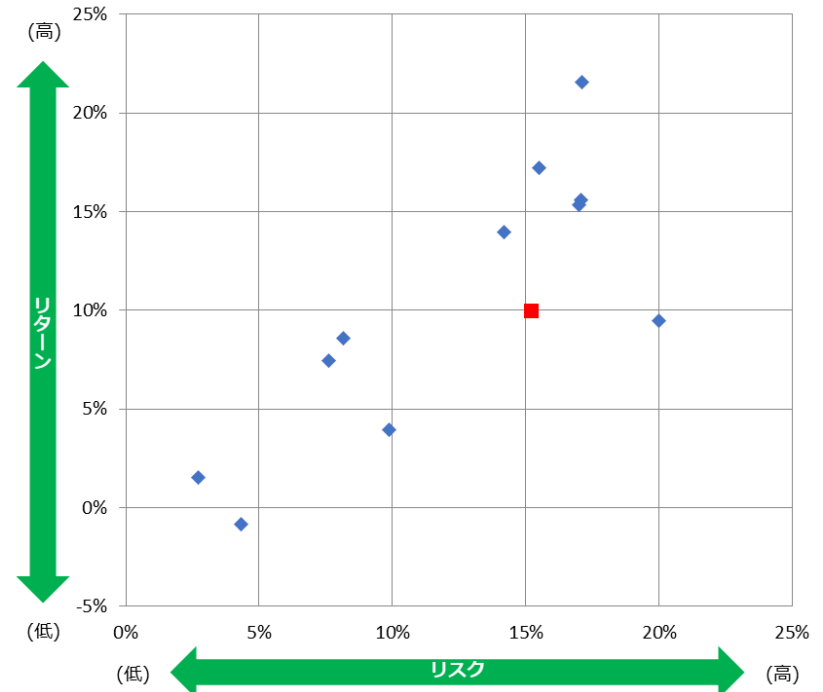
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- 当会では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.38%、平均リスク15.20%に対して、平均リターンは9.96%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



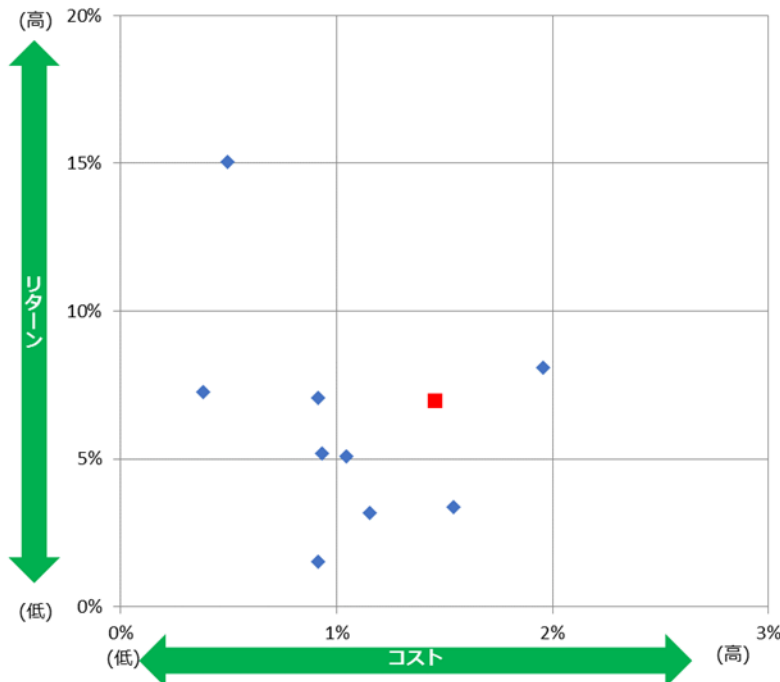
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

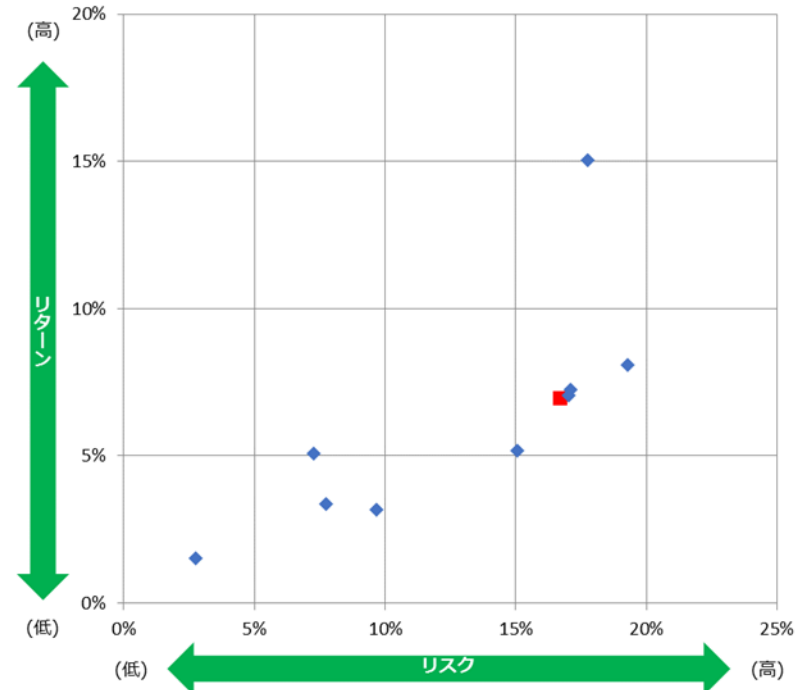
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 当会では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.45%、平均リスク16.72%に対して、平均リターンは6.96%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



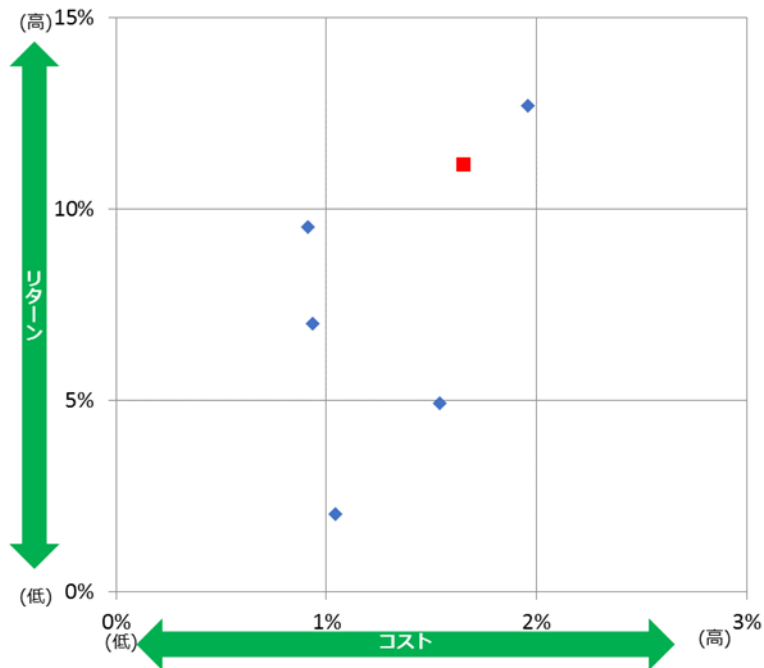
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

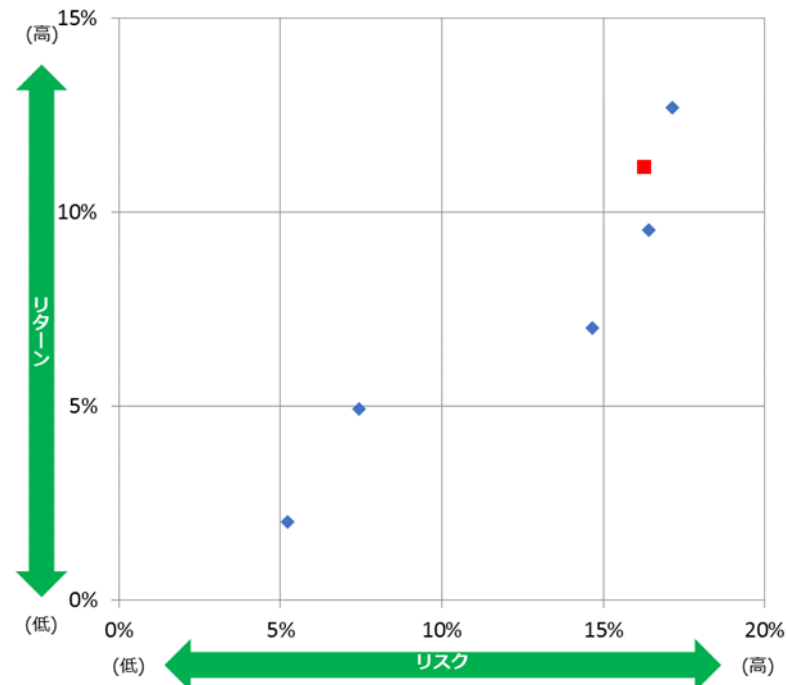
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 当会では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.65%、平均リスク16.27%に対して、平均リターンは11.16%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
4	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
5	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
6	JA資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.43%	7.60%	1.54%
7	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
8	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
10	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
11	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.96%	15.20%	1.38%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
3	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
4	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
6	J A 資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.37%	7.75%	1.54%
7	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
8	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
9	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.96%	16.72%	1.45%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
4	JA資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.92%	7.45%	1.54%
5	農中US債券オプ	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.02%	5.21%	1.05%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.16%	16.27%	1.65%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。